



異常な行動が記録されている事例の追加調査結果

※：継続投与後に異常行動を含む精神神経症状を発生した事例  
\*：継続投与後に異常な行動を含む精神神経症状を発生しなかった事例

No	識別番号	年齢 数値	年齢 単位	性別	PT名称	タミフル 服用時刻	異常な行動発現時刻	就寝中か否か (就寝中○、 就寝中以外×)	意識直 後に発現	就寝中の場 合、就寝時 刻から発現 までの時間	回復までの 時間	一服して 完全回復	体温	患者の記憶	腫瘍発症症 等の既往	腫瘍発症症 等の家族歴	光に対する 反応	薬剤による 「異常な行 動」の既往 履歴	異常な既往に 関する既往歴	異常な行動の具体的な詳細 (例：幻覚については具体的に何が見えたか？本人が幻覚を見たのか、 誰が幻覚を見ていたように言っているのか？)	継続投 与例
203	B07004039	13	年	男性	腫瘍	2007/3/19 午前	2007/3/20 10:00	○	Yes	-	1時間	-	発熱持続	No	No	No	-	No	No	2007/03/18 日型インフルエンザ発症。 2007/03/19 本剤75mg×2回/日投与開始。(PM)体温:39.4℃。(体温測定値に 加して、時間は不明) 2007/03/20 (10:00)2階で寝ていたが、急に起きてきて階段(廊下)の途中から 飛び降り、部屋の障子を倒して外へ出て行こうとした。1階にいた祖母が取り押 さえた。(10:30)しばらくすると空にかえった。39℃の体温があった。患者によ ると悪い夢を見て、何かに追いかけていたような気がしたそうであるが、障 子を飛び降りたり障子を倒したりしたことは何も覚えていなかった。	*
204	B07013254	13	年		異常行動	2008/2/1 2008/2/1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2008/2/1 インフルエンザに対して、本剤の投与を開始。2回服用の4時間半 後に痲になって外に飛び出す。本剤の投与を中止。 2008/2/2 異常行動は回復。	無
205	B07013256	13	年	男性	幻覚	2008/1/29	2008/1/29	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2008/1/29 (夕)A型インフルエンザ(体温:39℃)に対して、本剤の投与を開 始。本剤服用後に、幻覚(異常行動)が発現。(投与は1回のみ) 2008/1/30 幻覚(異常行動)は回復。	無
206	B07021876	13	年	男性	異常行動	2008/2/1 2008/2/2 2008/2/3	2008/02/01 夜遅く	○	-	-	-	Yes	発熱持続中	Yes	-	-	-	-	-	2008/02/01(午後遅く)夕方、本剤を服用。就寝、夜中突然泣き出して、布団の中で ぐったり倒れ、部屋の中を走り出した。押さえて、おしして落ち着いた。再び起き、 泣き止まず。本人も一服は覚えていたとのこと。翌日から本剤を内服したが、異常行 動は起こらず。	*
207	B05002407	14	年	男性	意識レベルの低下	2005/2/5	2005/2/5 18:00	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2005/2/5 (11:30)発熱、咽頭痛、関節痛で発症。鼻腔内サンプルでインフル エンザ迅速診断でインフルエンザA型と診断。意識障害、精神症状は無かった。 (18:00)タミフル1カプセル服用。(18:00)自宅より転落。(23:00)他院にて出血 性ショックにより死亡。	無
208	B05017753	14	年	女性	腫瘍	2005/2/28 2005/3/1 2005/3/1	①2005/3/2 ②2005/3/4	-	No	-	No	No	解熱過程	-	No	No	No	No	No	①朝より「外から誰かが見ている」「家の中に知らない人がいる」夕までサラダを 出すと「毒が入っている」などの幻覚や被害妄想出現。暮しのに家中の窓を全 て金網にしまわるなどの異常行動あり。落ち着きがなく家中うろちるための 母親が他院に連れていった。小児科精神科などいろいろな科を回され精神安定剤 の注射をされ、せん妄と診断された。 ②少し落ち着いたが「死にたい」「お母さん私のこと殺すでしょう」などの自殺 念慮発言あり。	無
209	B05022381	14	年	男性	①錯乱状態 ②落ち着きのなさ	2004/1/28 2004/1/28	2004/1/28 昼間	-	No	-	-	Yes	発熱持続	No	No	No	No	Yes	無	1カプセル服用後12匹の鬼に追いかける」といって窓に向かって走り出した (マンションの9階)。錯乱、不穏発現。ガラスは破りがけがあり、事故にはならな かったが、両親二人がかりで押さえなければならぬ程の力で暴れた様子。	無
210	B05024748	14	年	男性	異常行動	2008/2/18	2008/2/18 24:00	○	-	3時間	約1.5時間	No	発熱持続	Yes	No	No	No	No	無	2008/2/17 インフルエンザ発症。 2008/2/18 インフルエンザA型と診断。タミフル75mg/日投与。(21:00)自宅で休 んでいた。(00:02)2階より飛び降り、両足骨折、異常行動、両足骨折発現。 2008/2/19 (1:40)自宅近くのコンビニエンスストアに1人で徒歩で帰るのま まのところを警察に保護される。(2:30)当院救急外来へ搬送。右踵骨骨折、左第5 指中足骨骨折、両足部外傷性皮膚潰瘍あり。自宅窓は開いておりこの下のコン クリート筋がコンビニエンスストアにかけて血痕が認められていた。ヴイーンD で輸液開始。なお当院搬送時は意識状態は問題なし。異常行動回復。(4:00)頭 液検査施行。頭部CT実施。結果：骨折なし。頭蓋内に急性期外傷性変化なし。 明らかな浮腫や脳圧を認ずる所見を認めない。 2008/2/21 脳波検査実施。異常所見なし。 2008/2/22 頭部MRI実施。結果：明らかな異常所見は認められない。脳実質に 信号の異常なし。拡散強調画像で有意な高信号なし。impression:異常を認め ず。 2008/2/23 インフルエンザ軽快。退院。	無
211	B05024983	14	年	男性	①悪心 ②異常行動 ③意識レベルの低下	2008/2/13 2008/2/14	①2008/2/13 ②2008/2/14	×	No	-	-	-	発熱持続	-	No	-	-	No	無	2008/2/13 インフルエンザA型のため、タミフル75mg×2/日投与開始。 本剤内服後、少し悪なことを言っていたがすぐに治まったので家で様子を見て いた。意識障害(軽度)発現。吐きもあつた(重症度不明) 2008/2/14 朝本剤内服後、4時間ほどして腹を絞りで突然家の外へ飛び出 したところ、家裏が気づいて連れ戻すことがあった。その後もう一度できる ようなことができない。おかが24時間のことか9時過ぎた。行動障害(重症?) 発現。(10:30)家より今は落ち着いているよたという連絡があり。総合病院を 受診するように指示した。 2008/2/15 (夜)家に電話して様子をおねたところ、総合病院を受診して血液検 査と頭部MRIを撮影したが、今は落ち着いている。入院はせず。 2008/2/24 家に電話して様子をおねたところ、総合病院の検査はいずれも異 常なしとのこと。現在に特に異常なし。コカール200mgを合計4錠内服していたこ とが判明。インフルエンザ軽快・回復。	無
212	B05025213	14	年	女性	異常行動	2008/1/21	2008/1/21 12:00 22:30	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	無	2008/1/21 インフルエンザA型と診断。タミフル75mg×2回/日投与開始(他院 にて処方)。(10:30)タミフル75mg内服。(12:00)トイレにいそんだ後、目を向いた 感じになった(30秒くらい)。その後救急受診。受診時、異常ないため一旦帰宅。 (20:00)本剤75mg内服。(22:30)突然起きあがり「母ちゃんごめんさい」などと意 味不明な発言がみられ、救急受診。受診時に受け答えは正常にできたが、点 滴後もフラフラするとうため、経過観察のため翌日入院することとした。 2008/1/22 解熱し、インフルエンザ軽快。その後、精神状態等も正常であ った。 2008/1/24 後日外来で脳波検査予定として、退院。	無

異常な行動が記録されている事例の追加調査結果

※：継続投与後に異常行動を含む精神神経系症状を発現した事例  
 ※：継続投与後に異常な行動を含む精神神経症状を発現しなかった事例

No	識別番号	年齢 歳	年齢 単位	性別	PT名称	タミフル 服用時刻	異常な行動発現時刻	就寝中か否 か (就寝中○、 就寝中じゃない×)	発熱 後に発現	就寝中の場 合、就寝時 刻から発現 までの時間	回復までの 時間	一服して 完全回復	体温	患者の記憶	睡眠異常 等の既往	発熱異常 等の既往	先に対する 反応	他剤による 「異常な行 動」の既往	異常な行動に 関する既往	異常な行動の具体的な詳細 (例：幻覚については具体的に何が覚えたか？本人が覚えたのか、 親が覚えたか？など)が判明しているか？	継続投 与例	
213	B05025478	14	年	男性	①異常行動 ②意識レベルの低下 ③嘔吐	-	-	-	No	-	15分	Yes	解熱過程	No	No	No	No	No	不明	不明 インフルエンザウイルスは陰性だったが、家族に陽性の患者がいたためタミフル投与開始。(75mg×2/日 へ2日間) 不明 異常行動、意識障害、痙攣発現、経液検査にて細菌感染上昇。		
214	B05025583	14	年	男性	異常行動	2008/2/20 2008/2/21 2008/2/22 2008/2/23 2008/2/24 2008/2/25	2008/2/20	11:00	○	-	-	-	-	-	-	-	-	-	無	2008/2/19 発熱あり。 2008/2/20 (午前中)インフルエンザA型と診断。タミフル75mg×2回/日処方し、ただちにIcap服用。 (11:00頃)隣に寝ていたが、突然階段をどたどた駆け降り、学校へ行かなくちゃと脅かってぼんを背負って外へ飛び出そうとした。丁度家人が居り、当人を取り押さへ、今日は学校に行かなくても良いと言っておくさせた。異常行動発現。異常行動の持続時間：不明。 (12:00頃)症状軽快。その後本剤は処方どおり服用。特に変わったことはなかった。後で本人に確認したところ記憶が全くないとのことだった。家族は発熱によるものと考え特に処置はしなかった。 2008/2/25 インフルエンザ軽快し、本剤は朝内服終了。	*	
215	B05025723	14	年	男性	①異常行動 ②激越 ③錯乱状態 ④嘔吐	2008/2/5	夜間	2008/2/5	-	No	-	Yes	発熱持続	No	Yes	No	No	No	睡眠異常	小児時 本剤服用にて異常行動(重症度不明)発現。異常行動回復。 2006/1/7 39.1℃の発熱にて当院受診。インフルエンザ抗原検査ではA/B日ともに陰性であったが、症状的にインフルエンザが強く疑われたため、シンドレル2T/日投与。その翌日発熱にも関わらず、異常状態はなお続いた。 2008/2/5 自中発熱にて休日当番医受診。A型インフルエンザと診断され、本剤(75mg)2cap/日、5日間処方。夜間本剤服用後、異常状態になり家の中を大声を出して動き回った。家族が抱きかかえるように抑えつけないといけない状況だった。2時間前にこのような異常状態が出現した。興奮、錯乱状態、健忘発症発現。 2008/2/6 正確な時間はわからないが、寝入って状態的に落ち着いたら、本人は全く覚えていない。興奮、錯乱状態、健忘回復。当院受診。母親の話を聞き、本人は全く覚えておらず、37.4℃まで熱は下がっていたので、本剤服用を中止し様子を見るように指示。その後の連絡は無し。		
218	B08024434	14	年	女性	転倒	2007/2/16	昼	2007/2/16	12:48	-	-	-	-	-	-	-	-	-	無	2007/2/15 朝から寒気あり。夜より発熱。 2007/2/16 (9:40)当院受付にいらした。受診。体温38.2℃、咳が少し、鼻水が少し、喉の痛みを訴えていた。診察時、異常な行動はみられず、精神・神経系の異常はなかった。(11:00頃)インフルエンザB型と診断。タミフル、ニューロシド坐薬、PL錠投与。マーズレン8を処方され、タミフルを内服した(1回内服)。(12:48)自宅マンションより転落のため、病院に救急搬送あり。(12:58)救急隊到着し心肺停止の状態。(13:03)病院着。心肺蘇生(徒手)を行った。反応せず。(13:34)死亡確認。警察による検案あり。自殺は同意を得ず。 <新聞記事の情報> 2007/2/16 午前に病院で受診後、母親と一緒に帰宅。本剤を服用して静養していた。(12:45)自宅マンション敷地内で血を流して倒れているのを発見された。自宅前の通路の手すり(高さ1.4m)から1階建建物の壁際に転落後、地面に落ちた。母親は出かけたため、転落当時一人だった。患者は黒色の上下のスエット服で、靴は履いていなかった。患者は全身を強く打ち病院に搬送されたが約1時間後に外傷性ショックで死亡。		
217	B06024785	14	年	男性	①異常行動 ②転倒	2007/2/26	18:30	2007/2/27	1:20	○	-	発熱後すぐに発症	No	No	Yes	-	-	-	No	無	2007/2/26 朝、受診。38.9℃。「首が痛い」と訴えており、のどが真っ赤であった。クラスでインフルエンザが流行していると言っていたので、インフルエンザB型と診断。意識状態についてはわからない。既往症、合併症は未確認。切診ではないため、問診要なし。タミフル75mg×2回/日(6日分)、カロナール200mg12錠(6日分)処方。 2007/2/27 (1:47)救急車にて病院に搬送。受診時心肺停止状態。JCS200、顔面は顔面骨折、上顎、下顎骨など骨折を認めず、マスク換気とともに耳出血が噴出する状態。四肢も多発性の開放骨折。心臓蘇生を試みるが、全く反応なし。 (2:01)死亡確認。 <新聞記事からの情報> 2007/2/26 (9:30頃)タミフル75mg内服。(18:30頃)タミフル75mg内服。 2007/2/27 自宅マンション11階より飛び降り、転落して死亡した。夜中に目を覚まして母親を起こし、居間で薬を飲もうとしたが、前の服薬から所定の8時間が経っておらず、服用を見合わせた。(1:20頃)その直後、トイレに行くと気づいて居間を駆け戻った。玄関の扉を力ずくで叩き壊して逃げようとした。患者は玄関前の外壁に膝で足をかけて走り続けた。転落したという、頭などを強く打ち、市内の病院に運ばれたが、間もなく死亡した。	
218	B08025006	14	年	男性	異常行動	2007/2/17	17:00	2007/2/17	20:30	-	15分	Yes	発熱持続	No	No	No	-	No	無	1階にいた母が2階が騒がしいことに気がつき見に行ったら、患児がクロゼット内に走り込んでいた。その後走り回ったり、階段の手すりに足をかけた。顔をかきむしるような動作があった。これらの行動が母が行ってから10分程度続いた。救急要請。救急到着時は意識清明。		
219	B06025685	14	年	男性	異常行動	2007/2/25	19:00	2007/2/25	23:00	○	約4時間後	1時間	Yes	発熱持続	No	-	-	-	無	(2007/2/25 23:00)トイレに行こうとベッドから立ち上がった状態。トイレへ歩いて行くもトイレの中、壁に向かって排便し、ふらふら歩き出し、台所の床に倒れる。 (2007/2/26 15:00)異常行動回復。		
220	B08026128	14	年	男性	①意識消失 ②異常行動	2007/02/23	夕方	2007/02/25	AM3:00頃	○	Yes	-	5-6分	Yes	発熱持続	No	No	No	-	突然起床。家族はトイレに行くのかと想っていたら、トイレを通り過ぎ玄関ドアの前で意識消失し転倒。その衝撃音で家族が発見される。意識消失は2-3分間。その間意識は認めない。 後頭部打撲。	*	

異常な行動が記録されている事例の追加調査結果

※：継続投与後に異常行動を含む精神神経系症状を顕現した事例  
 ※：継続投与後に異常行動を含む精神神経系症状を顕現しなかった事例

No	識別番号	年齢 数値	年齢 単位	性別	PT名称	タミフル 服用時刻	異常な行動発現時刻	就寝中か否 か (就寝中か、 就寝中じゃない か)	異常 投与 後に発現 した	就寝中の場 合、就寝時 刻から発現 までの時間	回復までの 時間	一服して 完全回復	体温	患者の記憶	睡眠覚醒症 等の既往	睡眠覚醒症 等の家族歴	光に対する 反応	薬剤による 「異常な行 動」の副作用 あり	異常な行動に 関する既往歴	異常な行動の具体的な詳細 (例：幻覚については具体的に何が見えたか？本人が幻覚を見たのか、 誰が幻覚を見ていたよと答えているのか？)	継続投 与例
221	B0602844	14	年	男性	異常行動	2007/2/23 19:00	2007/2/23 21:00	×	No	—	3時間	Yes	発熱持続	No	—	—	—	No	無	2007/2/23 (3:00)38.5℃。(10:00)37.5℃。インフルエンザA型と診断。(19:00)夕食後、タミフル75mg服用。(21:00)「落ちつかない」「外へ出ると外へ出ようとした。寒気が走りまわることになり外出は中止できた。異常行動発現。(24:00)3時間経過後落ち着いたが、ようやく就寝できた。2007/2/24 (7:00)平常に戻る。異常行動回復。37.0℃。インフルエンザ軽快・回復。	
222	B07000123	14	年	男性		2007/1/8 16:00	2007/1/8 16:30 20:00	×	No	—	—	No	発熱持続 中	—	No	No	—	No	No	2007/01/08来院時、体温:38.2℃。 (18:00)A型インフルエンザ治療のため、本剤75mg×1/回内服。 (18:30)異常行動発現、もうろうとして意識がクリア。「何を飲ませるか?」と尋ねた。 (20:00)2時から降りてきて、再び意識もうろう状態、熱38.0℃ (「死ぬとどうなるか?」「どう言葉に母の呼びかけ?」「どうした?」)により意識が戻った。その後は普通、ご飯食べた。 (22:00)2時寝て就寝。 (24:00)意識もうろう「何で、何で?」と言い泣いた。ベッドに戻して、うつ伏せにしたら意識が戻った。「お母さんがなんでいるの?」と尋ねた、熱37℃。 2007/01/09 (8:00)熱が下がって普通。 異常行動回復。	
223	B07000153	14	年	男性	①意識消失 ②異常行動	2007/3/7 2007/3/7	2007/3/8 8:35	—	—	—	少なくとも2 ~3分以上	Yes	発熱持続	No	No	No	—	No	なし	2007/3/7(10:00)学校放課後目録より発熱、早速近医受診。インフルエンザB型と診断。タミフル1回75mgをすぐ内服。(18:30)タミフル2回75mgの服用。 2007/3/8 就寝した時間起きた時間は不明だが、6:35分には起きていた。(8:35)異常行動。意識障害発現、子ども部屋からのうめき声を母親が聞く。部屋に行ってみると当該患者がベッドで産位をとり、窓から身を乗り出してうめき声を発していた。しばらくして落ち着いたが、その後一人でトイレに行き、排便している間に意識消失。2~3分程度意識回復。救急車により当院に搬送される。(7:40)当院到着。到着時には、意識は回復していた。本人にそのときのことを確認すると、苦しみがしたのうめき声を発したが、窓から身を乗り出していたことには記憶がないとのコメント。異常行動、意識障害回復、念のため静脈ラインを確保し入院。 2007/3/9 朝より解熱。入院後、異常行動なし、頭部CT検査を行い異常なし。退院とした。	
224	B07000156	14	年	女性	異常行動	2007/3/18 夕方	2007/3/19 2007/3/19 夜中 午前	—	Yes	—	10分	Yes	発熱持続	No	No	No	—	No	無	2007/3/18 患者は部落の遠征先で、インフルエンザを発症。(夕方)他院処方により、本剤75mg投与。 2007/3/19 (夜中・午前中)異常行動(夜中急に走り出して倒れた)発現。(発現10分後)異常行動回復。当晚受診。	
225	B07000182	14	年	女性	異常行動	2007/2/3 2007/2/3 2007/2/4 2007/2/4 2007/2/5 2007/2/5 2007/2/6 2007/2/6 2007/2/7 2007/2/7	2007/2/3 23:00	○	Yes	2時間	10分	Yes	発熱持続	No	No	No	—	No	不明	2006/2/3 (朝)A型インフルエンザ治療のため、タミフル投与開始(75mg×2/日)。(21:00)夕分の本剤75mg内服後、就寝。(23:00)頃突然起き上がり、声を出しながら(内容は不明)2階の窓より階下へ飛び降りた。この際母親が同室にいたが、突然の行動のため制止することができなかったとのこと。直後に両親が直で患児が寝て寝て、受けている状態を確認。ホーンとしてしている状態であったが、話しがけには返事をしていたとのこと。そのまま就寝させ、翌日には意識は全快であった。 2006/2/7 タミフル投与終了。 2006/2/8 インフルエンザ軽快・回復。 2006/2/13 意識は特に悪化せず、約10日後で軽快した。 2007/3/24 異常行動回復。(医師の転簿確認)	*
226	B07000206	14	年	男性	異常行動	2007/3/8	2007/3/8 14:00	○	Yes	—	2~3分	Yes	発熱持続	Yes	No	—	Yes	—	無	(10:30)本剤75mg投与。(14:00)頃寝ていたところ突然起き上がり、部屋中を手をゆきゆき歩き回すが、呼びかけには答えず。2~3分で落ち着いた。投与薬剤全て中止。入院にてST3検査で経過観察した。(翌日)未明に突然起き上がり、上肢を1分程バタつかせることがあったが、その後はみられなくなった。	
227	B07000215	14	年	男性	異常行動	2007/3/*	2007/3/*	○	—	—	10分	Yes	発熱持続	No	No	No	—	—	不明	2007/3/19 (6:00)38.2℃。朝、インフルエンザBと診断。(11:00)タミフル75mg×1/日の投与開始。(20:20)異常行動発現。38.5℃の発熱あり。突然起き上がり室内をかなり激しく動き回り、よびかけ反応なし(10分)。その後、回復し就寝。 2007/3/20 (1:30)突然発熱し、2階から1階へおり出て行くとした。異常行動回復。(朝)本剤75mg×1/回内服し、以後投与中止。3/21まで発熱あり。 2007/03/24 インフルエンザの軽快・軽快。	*
228	B07000218	14	年	男性	異常行動	2007/3/15 2007/3/18	2007/3/18 14:30	○	Yes	1.5hr	Yes	Yes	発熱持続	No	No	No	—	No	無	スポンをはいていないのに「はいている」という。興奮して「死ぬ、こわい」と叫ぶ。 3月18日 13:00から14:30まで就寝。14:30から15:30まで副作用発現した。15:30から18:00まで、就寝しその後入院。	
229	B07000291	14	年	男性	①幻聴 ②異常行動	2007/3/6	2007/3/7	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	無	2007/3/3 咳、鼻水あり市販の解熱鎮痛剤を服用。 2007/3/6 38℃台の発熱がありホーンとしていたが意識正常、頭痛・悪寒があり。18:40当院救急受診。インフルエンザキットにてA型陽性と出たため、十分なインフォームドコンセントの元、本剤5日分とアシピラを処方。 2007/3/7 (8:00)母親から電話があった。当直医が対応したところ、母親が外から呼んでいるという幻聴があり、自宅玄関(5階)から外へ出ようとしたのを制止した。 その後の当院受診はなく、転簿は不明。	
230	B07000283	14	年	男性	①意識レベルの低下 ②譫妄	2007/3/14	2007/3/14 23:00	×	No	—	1~2時間	Yes	発熱持続	—	No	No	No	No	不明	(23:00)せん妄、もうろう状態発現。 トイレに行きドアを開けずに接近し、転倒。その後2階で寝かせた。 夜の中で不穏動作(手をバカバカさせたり起き上がりたり)を繰り返すよう様になったため、医師が床を叩きつけていたが改善しなかった。医師が床を叩きつけていたが改善しなかったため、転倒が床を叩きつけていたが改善しなかった。転倒は定かではなかったとのこと。症状回復。	

異常な行動が記録されている事例の追加調査結果

※：継続投与後に異常行動を含む精神神経症状を発現した事例  
 ＊：継続投与後に異常な行動を含む精神神経症状を発現しなかった事例

No	識別番号	年齢 数値	年齢 単位	性別	PT名称	タミフル 服用時刻	異常な行動発現時刻	就寝中か否か (就寝中○、 就寝中ではない×)	覚醒直 後に発現	就寝中の場 合、就寝時 刻から発現 までの時間	一回寝た 後の回復 までの時間	一眠して 完全回復	体温	患者の記憶	睡眠覚醒症 等の既往	睡眠覚醒症 等の家族歴	光に対する 反応	性別による 「異常な行 動」の副作用 出現	異常な行動に 関する既往歴	異常な行動の具体的な詳細 (例：幻覚については具体的に何が見えたか？本人が幻覚を見たのか、 親が幻覚を見ていたように思っているのか？)	継続投 与例
231	B07000284	14	年	男性	幻覚	2007/2/14 14:00 2007/2/14 21:40 2007/2/15 朝・夕 2007/2/16 朝・夕 2007/2/17 朝・夕 2007/2/17 朝・夕 2007/2/18 朝・夕 2007/2/18 朝・夕	2007/2/14 23:45	○	Yes	2hr	2~3分	Yes	発熱持続	Yes	Yes	No	No	No	睡眠時進行症 (夢中進行)	8歳頃まで、夢中進行(Sleep walking)がよくみられた。 10歳頃、インフルエンザA型に罹患した。アマンタジン服用。特に問題はなかった。 2007/2/13 (夕)軽い咽頭痛、37.6℃。学校で流行中。 2007/2/14 (朝)咳、鼻汁、高熱(39.7℃)、全身倦怠感、B型と診断(今シーズン はインフルエンザワクチン接種は受けていない)、(10:00)体温39.7℃、(14:00) タミフル75mg服用、(21:40)タミフル75mg服用。解熱剤は未、(21:45)就寝。 (23:45)幻覚発現(2~3分間)。本剤服用後、思いつめた表情で起きだし、何か幻 覚のようなものを見て、小さな声で「助けてー、助けてー、追いかけて来る。皆、 いっばい外に出る。出ないといかない」と言い、部屋から外に出ようとした。母親 が止めようとしたがみづいたが、すごい力で止められそうになかった。父親が顔を 平手打ちすると、表情が普通に変わり、「娘、外に出ようとしていたの？」と問う た。(23:50)幻覚回復。多量に発汗して、そのまま寝た。 2007/02/15 (朝)発熱は続いていたが、普通の発熱時の表情であった。2睡性の 発熱がみられたこともあり、本剤は5日分服用したが、幻覚は14日だけであっ た。「自分が何故行動するのか」と不思議に思う気持ちは感じなかった。特に映画 のような映像はなかった。私の「二人の自分がいる感覚だっかんか」の問いに「そ うです」の答えでした。	*
232	B07000308	14	年	男性	異常行動	2007/2/21 9:00	2007/2/21 19:00	-	-	-	1時間以内	Yes	発熱持続	Yes	Yes	-	No	No	熱性産暈	2007/2/20 夜、39.0℃の高熱あり。 2007/2/21 (9:00)本剤75mg服用。本剤を服用しても熱は下がらず高熱が継続。 24時間近く39℃近くであった。(19:00)異常行動発現。 家族の助けから階段を駆け下りてきて床で玄關から飛び出した。家 族が気づいて外を見ると、患者が田んぼを走っていた。その後、田んぼに落ちて いたが、通行していた車が気づいたことで大車には至らず免れた。その後、 バカ一にて自宅まで送られてきた際にも意識ははっきりしていたとの事。本人 に確認したところ外に出た理由はまったく覚えておらず、田んぼを走っている内 に記憶(意識)が徐々に戻ってきたとの事。その後道路に落ちていた際には記憶 は戻っていたらしい。警察が駆けつけた際には家の場所も覚えていた。その後の本 剤の服用は中止。カロナール2錠服用し、解熱。異常行動回復。 2007/02/22 5日間リレンザを処方しインフルエンザは回復。	*
233	B07002193	14	年	女性	異常行動	2007/3/20 11:30	2007/3/20 14:00	x	-	-	10分	Yes	発熱持続	Yes	-	-	No	No	無	3月20日(14:00頃)目の焦点が合わない、叫び声をあげる。壁に頭を打ちつける という異常行動(非重篤)あり。すぐに当院再来。再来時は意識清明。採血上も ともに異常なし。異常行動時、本人はかすかに記憶あるも、頭を打つ続けることを 止めることができず怖かったとのこと。1回内服(1cap)したのみでその後は内服 中止し、異常行動も認めない。異常行動軽快。	
234	B07005053	14	年	男性	異常行動	2007/3/13	2007/3/13 11:30	○	-	-	6時間	Yes	解熱過程	Yes	No	No	-	-	無	2007/3/6 外来。急性上気道炎、咽頭炎、37.8℃の熱発あり、インフルエンザ陰 性。 2007/3/13 (10:00)39.8℃の熱発。インフルエンザB型と診断。外来、ソラクト TMR 250 ml投与。本剤、アンヒバ処方。(11:30)自宅にて睡眠時にうわごと。後、 突如起き上がり、部屋を出ていこうとしたところ、母親・祖母が押さえる。落ち着 いたが、急に何かにおびえた。 2007/3/14 (11:00)症状は落ち着いていた様子。ソラクトTMR 500 ml投与、イ ヌマイン1錠、スルピリン500 mg処方。以後、副作用もなく軽快良好。 2007/3/18 インフルエンザ回復。	
235	B07013254	14	年	男性	凍結 幻覚	2007/2/14 朝・夕	2007/2/15 1:00	-	-	-	30分	-	-	-	-	-	-	-	無	2007/2/14 本剤の投与を開始。興奮(自宅の階段上り飛び降りた。けがなし、) が発現。本剤の投与を中止。 2007/2/15 興奮(自宅の階段上り飛び降りた。けがなし、)は回復。	
236	B07013395	14	年	男性	異常行動	2007/2/7	2007/2/7	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	無	2003/2/7 インフルエンザ治療のため、本剤の内服を開始。服用後、ベッドの 周りを走り回った。	

異常な行動が記録されている事例の追加調査結果

※：継続投与後に異常行動を含む精神神経系症状を発現した事例  
\*：継続投与後に異常な行動を含む精神神経症候を発現しなかった事例

No	識別番号	年齢 数値	年齢 単位	性別	PT名称	タミフル 服用時刻	異常な行動発現時 時刻	就寝中か否 か (就寝中心、 就寝中じゃない ×)	発現直 後に発現	就寝中の場 合、就寝時 刻から発現 までの時間	一回りして 完全回復	体温	風邪の記憶	睡眠異常 等の既往	発熱 等の既往	光に対する 反応	他剤による 「異常な行 動」の作 用歴	異常な行動に 関する既往歴	異常な行動の具体的な詳細 (例：幻覚については具体的に何が見えたか？本人が幻覚を見たのか、 誰が幻覚を見ていたように言っているのか？)	継続投 与例	
237	B03010203	15	年	男性	妄想	2004/2/4 2004/2/5 2004/2/6 2004/2/6 2004/2/6	2004/2/6	-	x	No	-	No	解熱過程	-	No	-	-	-	2004/2/4 38.8℃台の発熱が認められ他院受診。インフルエンザA型と診断。 (タミフル内服開始) 2004/2/5 (12:00頃)寝転となったが、「頭が寒くなった」と言う。 2004/2/6 「眩暈が寒くなった」と訴え、一晩中起きていた。タミフル投与を中 止。 2004/2/9 脳神経外科病院受診を紹介受診。頭部CT、脳波検査にて異常は認 めず。 2004/2/10 近区精神科を受診時「本来の自分ではない気がする…」と訴えた が、明らかな幻覚症状は認めず。 2004/2/13 盲校と変わらず会話もできるようになり、翌日には学習塾の授業に も出席した。 2004/2/15 学校へ登校したが、授業中に「世界の平和が役者によって歪められ ている。社内内幕が…」と訴え、活動も減り自宅に帰る。近区精神科 を受診。「降されるかもしれない」と訴えていたため、統合失調症の発症を疑 いhaloperidol 3.3mgを筋肉内投与し、入院の必要も考えられた。 2004/2/17 当院精神科に受診。幻覚妄想を認め、同日医療保護入院。入院時 現症：簡単な会話は出来るが、会話の内容に一貫性に欠け、「僕は精神科医に ならなければいけないような気がする…」と表情を哀えずに話し続け、質問に 対して適切な応答は得られず。易怒性や不禮儀さは認めず、見当識も保たれて いた。体温38.9℃で頭部画像所見では異常は認めず、血液・生化学検査は CPK、CRPの軽度上昇が認められた以外は異常なし。また脳波検査でも基礎波として 慢波帯位に9-11Hzのα波が認められ、徐波傾向はなかった。脳波検査では 細胞数が9μVとやや多い以外は異常所見なし。インフルエンザ抗体価も1倍 未満であった。 入院後経過：神の声が聞こえてくる…。と訴え、病院内を徘徊するため、 risperidone 1mgを投与したが、入院日の翌朝4時頃まで目覚めずテー ションを何度も往復し、妄想の内容を話し続けた。また経口薬に減量内容 を記載し、部屋中に記載した紙を散らした。入院2日目よりrisperidone 3mgに 増量したが効果はなく4日目よりanzapine 20mg、levomepromazine 50mgの投 与を開始した。	無	
238	B05001829	15	年	男性	①度重 ②譫妄	2005/3/20	10時過ぎ頃	2005/3/20	11:30	x	No	-	No	Yes	発熱持続	No	No	No	No	2005/3/20 (11:30頃)強い興奮で寝たの分らないことを言いながら歩き回っ ているうち、右上肢屈曲強直、右に傾き立っていらなくなり、家人が支えた。救 急隊到着時は全身硬直しており、首でかかえてストレッチャーに乗せた。入院到 着時、38.1℃、ややおっとするが(JCS)麻痺(-)、顔にやや硬直(+)、口を固 かしくいけいけ採血。モニター装着、KNAIにて補液を開始。頭部CT：異常なし、 脳波：異常なし。(24:00頃)37.2℃。不穏となり、眠れないというためモニターはず す。	無
239	B06024227	15	年	男性	①異常行動 ②譫妄	2007/2/8 2/8~2/12 2007/2/13	2007/2/13	午前	x	No	-	No	No	解熱後	-	-	-	No	2007/2/8 インフルエンザA型治療のため、タミフル投与開始(75mg×2日 /2/13)。 2007/2/11 インフルエンザ軽快・回復。 2007/02/13 (午前)学校で授業中突然歌を歌う。異常行動発現。視線が定まら ず(視線が合わない)早退。帰宅後も睡眠傾向となり、自宅静養。(JCSで2ヶタ以 上というわけではない、JCSはほぼ1) 2007/2/16 (午後)症状続くためA病院より紹介。採血、検尿、脳CT異常なし。 MRI、脳波は過剰興奮して数時まで覆れなかったが、覆れた分は異常なし。 精神科入院。ソルフェムシAの高濃。 2007/2/17 (6:00)自ら投針し、病院内を興奮して暴れていると報告。父母と相 話し、外出一外泊とする。 2007/2/19 (午前)病院にて脳SPECTの検査を行うが、やはり興奮して不可能。 父母への暴力行為もあり、再び外泊とする。 2007/2/21 父母に観察の下、夜校を開始。 不明 家でテレビをみても10分もすると「疲れた」というなど、集中力低下が 主体となった軽度の症状へ変化してきている。 2007/2/23 随治退院とする(本人が病院に戻りたくないと言って聞かない様 子)。家では夜間、父母と共に睡眠したが傾向(これまでは全くなし)、父母が外 出すると「早く帰ってきて」と携帯電話にかかってくる。(これも今では全くなし)た だ、徐々に集中力や視力は回復しつつあるようで昼にも行くようになってい る。入試前のテストがあった。 2007/2/26 2/13以降の一連の行動を自覚しはじめ、全く覚えていないと言 う。この頃より学校の授業を受ける様子が戻ってきて集中力が出てきたと担任より 報告あり。 2007/2/28 入試前テストが返却され本人も驚くほど低い点数だったとのこと。 2/28~3/1の時点で父母から見ても、全く正常に戻ったと評価している。しばらく、 異常行動がみられていたことで、学校で友人に冷た(されていた時期)があり、 本人もそれに対するショックが今は大きいようだ。父母から確認のMRI、脳波 は遠慮したいと申し出あり。	無	
240	B08024378	15	年	男性	①異常行動 ②自殺企図	2007/2/17	長 22:00	①2007/2/18 ②2007/2/18	1:00 7:40	x	No	-	7時間	-	発熱持続	Yes	No	No	-	2007/2/17 学校の保健室より39℃の熱があるのでも早退させますが、今日病 室に連れて行きますか?と母親へ電話。母親が寝まで迎え、その足でA院へ 行きインフルエンザと診断。(薬)タミフル服用。(22:00頃)タミフル服用。 2007/2/18 (1:00)悪夢を見た。暴れた(本人より)。しかし、雨は暴れた姿を見て いない。目がすわっていた。異常行動発現。(7:30)再度暴れた。玄関のドアを開 けようと思ったが、倉所へ行って包丁を持った。流し台の前で包丁の 刃を自分に向けている姿を両親が発見した。包丁は足元に落とす。家族には 自殺行為に見えたのと(親を刺そうになったから自分刃を向けた。とどこ ころ記憶ある。全ては覚えていない。)(7:40)自殺未遂発現。(7:55)救急車へ 電話。(8:05)B病院救急外来に到着。38.7℃。タミフル中止。(8:40)自殺未遂軽 快。異常行動終結。 (時間不明)体温:39.6℃ 2007/2/19 かかりつけのC院来院。体温:38.4℃。	無

異常な行動が記録されている事例の追加調査結果

※：接種後後に異常行動を含む精神神経症状を発現した事例  
 \*：接種後後に異常な行動を含む精神神経症状を発現しなかった事例

No	識別番号	年齢 数値	年齢 単位	性別	PT名称	タミフル 服用時刻	異常な行動発現時刻	就寝中か否か (就寝中○、 就寝中じゃない×)	意識 後に発現	就寝中の場合、 就寝時刻から発現 までの時間	回復までの 時間	一服して 完全回復	体温	患者の記憶	保護者等 の記憶	保護者等 の家族歴	発熱 に対する 反応	他剤による 異常な行動 の副作用 あり	異常な行動に 関する既往歴	異常な行動の具体的な詳細 (例：幻覚については具体的に何が見えたか？本人が幻覚を見たのか、 親が幻覚を見ていたかどうか？)	接種後 事例
241	B06026299	16	年	女性	①便秘 ②発作 ③異常行動	2007/3/13 2007/3/14 2007/3/14	2007/03/14 21:00	-	-	15分	Yes	-	No	No	No	No	No	No	不明	2007/3/12 初来院時はインフルエンザキットで陰性だったため、フロモックスとPA錠を処方。 2007/3/13 翌日になっても熱が下がらず再来院。その際、インフルエンザと診断し本剤75mg×1/日の投与開始。 2007/3/14 (不明)タミフル75mg×1/回投与。(19:00)タミフル75mg×1/回投与。(21:00)夜になり便秘(非重篤)・手の震え(非重篤)が15分続き、その後寝た。起きてからはそのようなことは無かった。また、夜から発作が発症。 2007/3/15 翌日には全身に発疹がひろがり他院へ紹介し入院になったため、その後の経過は不明。	
242	B07000085	16	年	女性	異常行動	2007/3/6	22:00	○	Yes	2時間半	3時間	Yes	発熱持続	Yes	No	No	No	No	無	2007/3/6 (10:00)体温38°C。(11:00頃)インフルエンザB型治療のため、本剤75mg、カロナール200mg投与。(22:00頃)夕食後タミフル75mg投与。(22:30頃)就寝。 2007/3/7 (1:00頃)眠っていたが、大声を出し突然起き上がりて大声を出し、部屋中をワロウロ走り出したため、家族が制止した。目つきも怪しかった。異常行動発現(〜2:00)。(2:00〜5:00)臥床し多弁。(5:00)就寝。(11:00)覚醒。異常行動回復。本剤投与中止。 2007/3/10 インフルエンザ軽快・回復	
243	B07000079	15	年	男性	①幻覚 ②異常行動	①2007/3/15 ②2007/3/18	①13:30 ②10:00	○	No	-	15分	Yes	-	No	No	No	-	No	無	3月15日 17:00異常行動発現(トイレに行くといつて玄関に歩いていったので家族が止めた)。その後寝た。3月16日 11:30異常行動が発現、トイレで母親が死んだ、怖い人が来ると大声で叫び顔を打ち倒れる。	※
244	B07001008	15	年	女性	異常行動	2007/3/6	19:30	-	-	-	数秒	-	-	Yes	No	-	-	No	なし	2007/3/6 (17:00)38.7°C。(夕方)他院に来院。インフルエンザA型確定。タミフル75mg/日投与開始。 (19:30)タミフル75mg服用。 2007/3/7 (6:30)母親就寝。このころの患者本人の申告として、「何かに追いかけてる夢を見た」「12階から飛び降りた感じがした。」「13:00頃庭からガラスの窓と両手をあけて、目覚めた」といふ。飛び降りた瞬間に意識が喪失(患者本人の申告)。(6:30頃)自力で自宅に戻り、家人(同居)に連絡(患者本人の申告)。(6:02)当院に緊急で搬送。CT(脳)、レントゲン異常みられず帰宅。幸い死亡はなかったが、怪我もほとんどなかったが、一歩間違えれば大怪我になりかねなかった。 2007/3/13 インフルエンザ軽快・回復。	
245	B07000259	15	年	男性	異常行動	2007/3/2	20:00	○	Yes	6時間	4〜5時間	No	発熱持続	Yes	No	No	No	No	無	2007/3/2 (午後)発熱。熱38°C程度でB型インフルエンザとキット診断。(20:00)自宅で、食後に本剤75mg×1/日の投与。 (21:00)就寝。 2007/03/03 (5:00頃)朦朧として起床、室内を徘徊し、突然、自宅2階ベランダの欄を越え飛び降りようとしたが、母親が制止した。『どうしよう！』『飛び降りんちゃ！(飛び降りない)』など意味不明な言動と挙動不審が1時間程続く。(6:00頃)再度就寝。(6:00)起床。(9:00)熱37.1°Cで意識回復したが異常行動の記憶はほとんど無い状態だった。本剤1回で投与中止。解熱剤等の投与なし。母親が当院の看護士という事で、9:00(意識は回復と判断した)に当院へ連れて来た。(9:13)医師が正常と判断。異常行動回復。(午前中)院内で経過観察した。体温は測定せず。	
246	B07001358	15	年	男性	異常行動	2007/3/3	-	-	-	-	No	Yes	-	-	No	No	-	No	無	2007/3/3 インフルエンザA型治療のため、タミフル75mg投与開始。薬を飲しが、親の首を絞めた。異常行動(非重篤)発現。内服を中止し、経過観察のみ。 2007/03/04 異常行動回復。	
247	B07001870	16	年	女性	①意識消失 ②異常行動 ③大発作虚脱	2007/3/19	14:00	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	調査不可能	3月19日(23:00)異常行動(風呂場)に行き、浴槽で頭を打ちつける行動が発現。少し出血した。父親が止めに入る。失禁も認められる。意識清明まで、5、8分。その後、意識発作10秒認められる。 3月20日(2:30)トイレに行った時に脱力し、意識消失(刺激を与えても反応なし)を認らし、呼びかけに対しては約1分後に回復したが、約10分程度はボーとした状態。	
248	B05021030	16	年	男性	躁狂	2005/12/27 2005/12/28	22:00 朝	×	No	-	2hr	Yes	発熱持続	No	No	No	-	No	無	(14:30頃)弟と口論。興奮状態となり、弟を「殺す」「自分も死ぬ」などの発言もあり、弟達が包丁などを全て隠した。その後本人は自宅を飛び出し、その後しばらくして自宅に戻った。(自宅を飛び出した時のことは憶えている)その後解熱し、精神興奮、異常行動は見られていない。	
249	B08025041	16	年	男性	①便秘 ②異常行動 ③突発性虚脱	2007/2/22~	不明	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	無	①感情、目つきが分かりにくい。動作やや遅慢。ボーとして居る。 ②いきなり立ち上がりボーとしており、母親が声をかけると「わからへん」と返す。意識が戻っていてかなり起き上がり、階段の電気をつけたが下へ降りずにまた倒れて寝てしまう。登校から食事はずれおやつをまんべんなく食べるのに、一加すつ付け付けないという事象は違った食べ方をした。 ③学校で自分の席につくなりダウンして、早退を告げずに帰宅。どうやって帰ったのか覚えてない。学校への連絡がわからない。	
250	B08025191	10	年	男性	譫妄	2007/2/14	昼、不明	○	Yes	-	15〜20分	Yes	発熱持続	No	No	No	-	No	無	2007/2/14 当院にて姉がインフルエンザB型と診断され、タミフル処方。同居人が高熱を呈した場合、成人であれば本剤1錠服用して、医療機関受診を指示。 2007/2/16 本人がインフルエンザ症状(39°C近い発熱)が出たため、受診時に処方された本剤を1錠服用。(18:00)当院に来院。問診検査でB型と診断。本剤処方。(21:45頃)意識障害(せん妄状態)(非重篤)発現(約30分間持続)。(22:00頃)あふれ出すようになったが自宅に入った。せん妄状態にも39°C近かった。(時間不明)回復して以降は家族が発見。外傷などはなかったが、中陰から出血した様子で本人は記憶なし。また熱が出ていたので本剤15mg服用。その後就寝。せん妄状態回復。 2007/2/17 本人、母親が来院。ロキソニン等を処方。(熱38.9°C)	※